

第 63 回全国国立大学法人病院検査部会議要旨

期 日：平成 28 年 6 月 9 日（木）～10 日（金）

会 場：川越東武ホテル（埼玉県川越市脇田町 29-1）

ウエスタ川越（埼玉県川越市新宿町 1-17-17）

当番校：防衛医科大学校

出席者：各大学の検査部長および技師長等 85 名

I. 1 日目 平成 28 年 6 月 9 日（木）

18:00～20:00 川越東武ホテル 3 階 「瑞光」

検査部会議 懇親会

II. 2 日目 平成 28 年 6 月 10 日（金）

9:00～15:00 ウエスタ川越 多目的ホール

1. 開会 9:20～9:40

司会 松岡 秀広 防衛医科大学校病院庶務課長による開会宣言の後、当番校である防衛医科大学校病院 長谷 和生 病院長および中西 邦昭 検査部長より開会の挨拶があった。

慣例により議長に当番校の中西検査部長を提案し、一同により承認され議事に入った。議長より、文部科学省の陪席者の紹介および平成 28 年度の新任の検査部長 4 名、技師長 2 名、医療技術・診療支援部長 1 名の紹介があった。

2. 第一部 特別講演 9:40～10:20

矢冨 裕 東京大学検査部長を座長とし、文部科学省高等教育局医学教育課大学病院支援室 病院第一係 小川 優 係長から、「大学病院を取り巻く諸課題について」と題し、①平成 28 年度予算について、②国立大学病院経営について、③国立大学法人等整備計画について、④大学病院をめぐる諸状況について (1) 平成 28 年度診療報酬改定、(2) 特定機能病院の承認要件に係る検討、(3) 大学病院等のガバナンスに関する検討会、(4) 新たな専門医制度について、(5) 臨床研究の法制化について (案)、(6) 臨床研究中核病院について、(7) 医学教育モデル・コア・カリキュラムについて、⑤個人情報保護関連等について講演が行われた。質疑では、医学部の新設に関する質問に対し、(1) 東北地区においては、東日本大震災をきっかけに東北復興や地域医療の充実を図るため、本年 4 月より東北薬科大学に医学部を新設し、東北医科薬科大学として稼働している、(2) 国家戦略特区における医学部新設に関する方針に基づき、成田市において国際医療福祉大学が医学部新設認可のための審議を受けている、との回答があった。

3. 第二部 シンポジウム 10:30～12:10

佐藤 智明 東京大学副技師長、河端 正樹 防衛医科大学校技師長を座長とし、「新興・再興感染症における検査部の対応について ～一類感染症の流行に備えて～」をテーマ

として、以下の講演があった。

①「アンケート調査報告」

防衛医科大学校 河端 正樹 技師長

②「長崎大学病院（第一種感染症指定医療機関）における準備態勢

長崎大学 小佐井 康介 検査部助教

③「第1報から受け入れまで」

国立国際医療研究センター 国際感染症センター 堀 成美

感染対策専門職

④「エボラ出血熱流行地の視察」

防衛医科大学校 藤倉 雄二 感染症・呼吸器内科助教

質疑応答では、一類感染症疑いの患者さんが来院した場合の検査技師としての対応・準備、陽性と確定した場合の対応、病室の清掃・消毒等についての討論が活発に行われた。

昼 食 12:10～13:00

幹事会 12:10～13:00

4. 第三部 13:00～15:00

①議事（Ⅰ）会務報告

矢富 裕 東京大学検査部長、萩原 三千男 東京医科歯科大学技師長の進行により、会務報告、幹事会報告、感謝状贈呈が行われた。

また、平成28年4月に発生した熊本地震に関し、熊本大学 池田 勝義 技師長より検査部会議からの支援に対するお礼と現状報告があった。

なお、次回当番校に関して、前回の会議で九州大学と決定されていたが、徳島大学からの申し出により次回は徳島大学へと変更し、次々回は九州大学とすることで承認された。

②議事（Ⅱ）実態調査報告

北海道大学 渋谷 斉 技師長から「平成27年度全国国立大学実態調査」の中間報告が行われた。

③議事（Ⅲ）講演

中西 邦昭 防衛医科大学校検査部長を司会とし、「生命科学研究の衝撃 ～軍事的インパクトと課題～」と題し、山田 憲彦 防衛医科大学校幹事から講演があった。国家の安全保障に関する話題、現在の科学技術の進歩と戦争との関連性、生命科学の進展と生物兵器開発等について、航空自衛隊員としての目線と医師としての目線から講演された。

5. 閉会 15:00